

# Stevens-Johnson症候群進展型中毒性表皮壊死症(TEN)

## 被疑薬の同定に至らず



37歳，女．インフルエンザ疑いでオセルタミビルリン酸塩，デキストロメトर्फェン臭化水素酸塩，カルボシステインを内服し翌日から発熱．内服4日後から散在性紅斑が出現，SJSと診断．顔面と体

幹を中心に小型の紅斑(左上)．眼球結膜の充血の眼脂(右上)．極期には全身の約15%の表皮剥離，びらんを認めた(下)．

(山下真未ほか：皮膚病診療 35：1173, 2013)